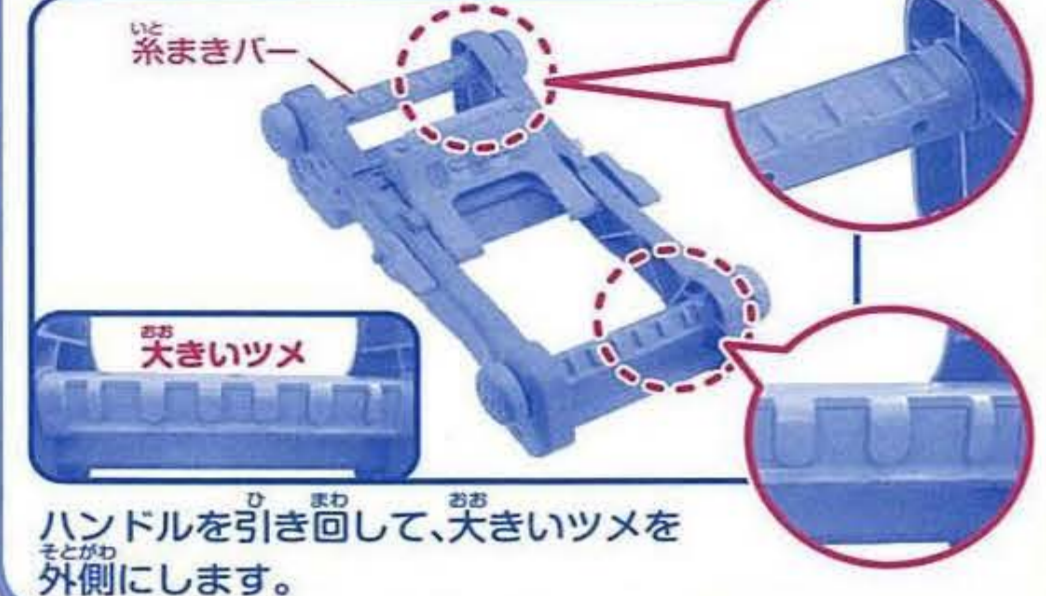


♡マフラーの織り方♡ パンチカードを使って織る

セットに入っている毛糸は、からまりやすいので、外側の端の糸からゆっくりほどいてください。

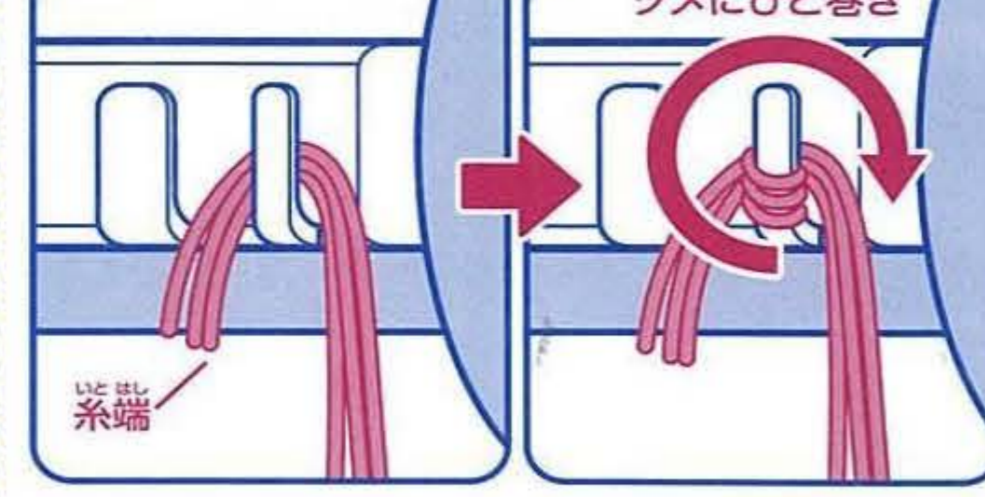
1. タテ糸のとりつけ

タテ糸を約120cmの長さで18本切ります。セットに入っている毛糸は、からまりやすいので、外側の端の糸からゆっくりほどいてください。



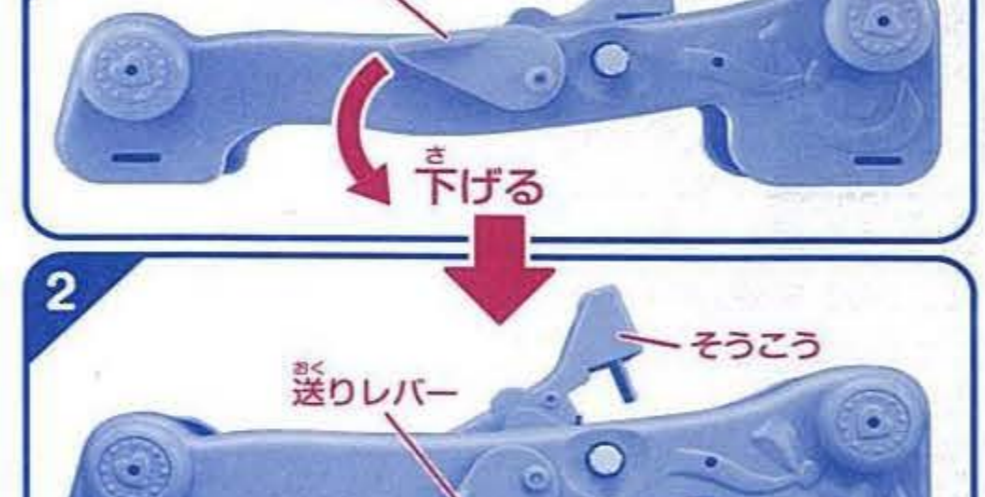
糸まきバーの右側の少し小さいツメに、切ったタテ糸を3本一束にして図のように巻きつけます。手前にやや強く引っ張ると糸がツメに固定されます。

2. 送りレバーの動きの確認

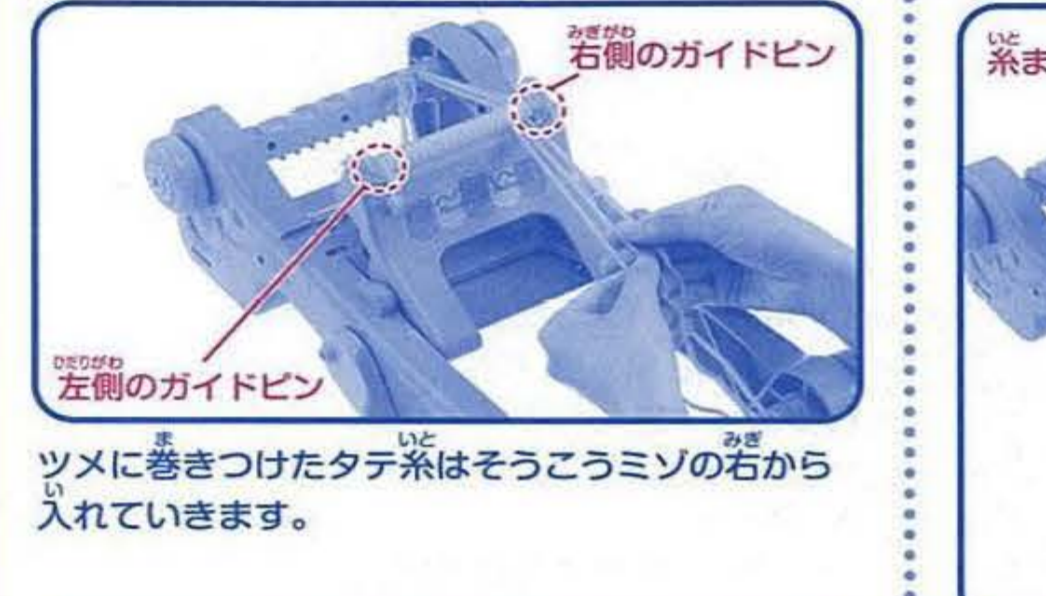


糸まきバーの右側の少し小さいツメに、切ったタテ糸を3本一束にして図のように巻きつけます。手前にやや強く引っ張ると糸がツメに固定されます。

3. 送りレバーの動きの確認



送りレバーを止まるまで押し下げ、そうこうを上げます。



ツメに巻きつけたタテ糸はそうこうミソの右から入れていきます。



※注意※
18本のタテ糸が正しくそうこうミソに入っているかどうか確認してください。



タテ糸を3本一束にして、布まきバーの右端のツメから図のように巻きつけます。強めに引っ張ったまま、糸端を張られた糸の下を2回くぐらせ、キュッと手前に引きます。

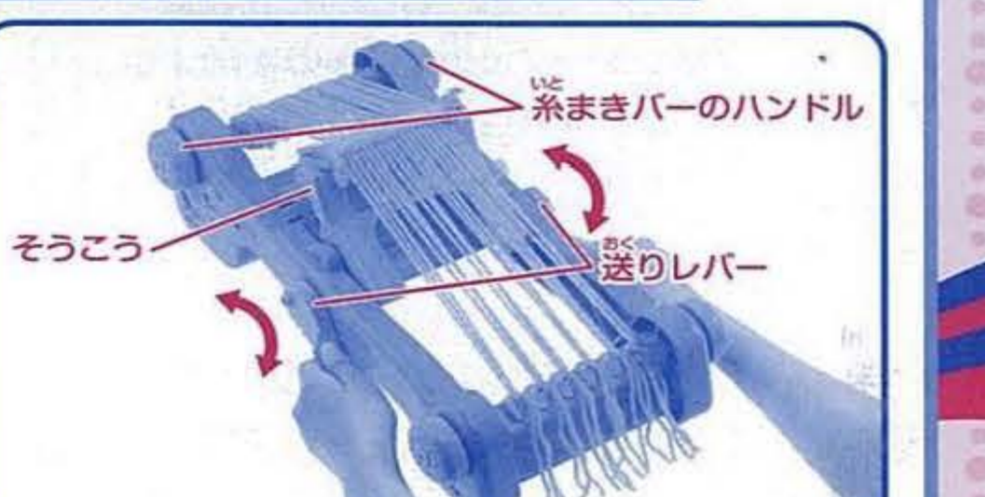
※注意※
そうこうの一番端のミソは、ガイドピンです。まちがえてタテ糸をかけないように注意してください。



残りのツメ5本にも、同じようにタテ糸をつけます。

◆キレイに織るコツ◆
タテ糸の張りくおいを、全部平均するように張るのがきれいに織るコツです。指で押さえてみて、ゆるんだ糸は直しましょう。

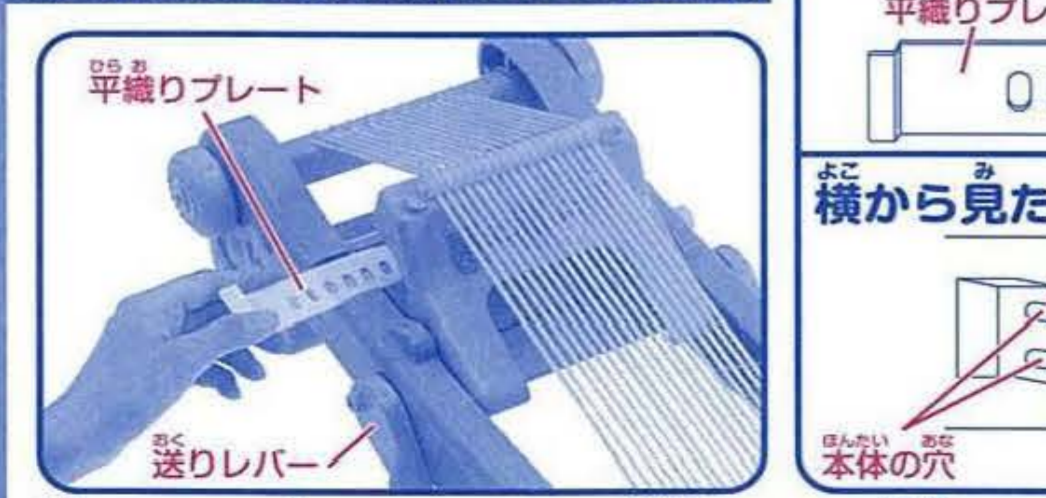
2. 送りレバーの動きの確認



何回か送りレバーを上げ下げし、そうこうがスムーズに動くように、糸まきバーのハンドルを回して調節します。

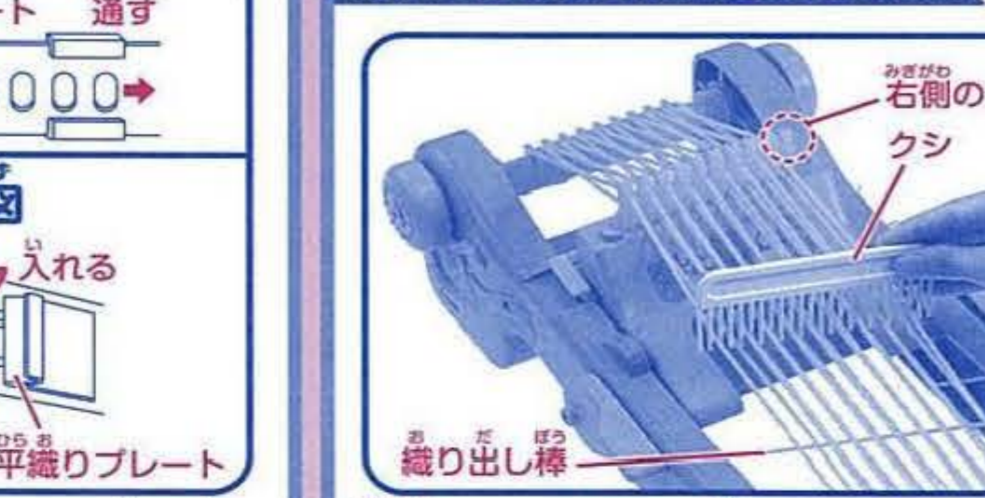


3. 平織りプレートの入れ方

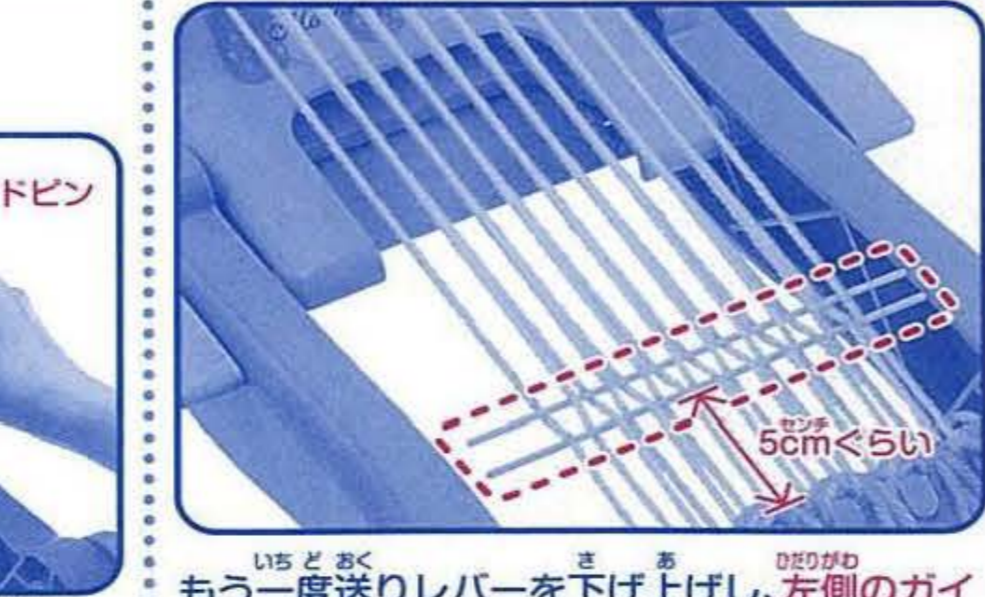


送りレバーが下がっていることを確認してから、平織りプレートを取り付け口から右にすべらせるように入れ、上図のように正しくセットしてください。

4. 織り出し棒のセット



もう一度送りレバーを下げ上げし、左側のガイドピンが上ったことを確認してから、杼道に織り出し棒を1本通し、クシで手前に引きよせます。



もう一度送りレバーを下げ上げし、左側のガイドピンが上ったことを確認してから、杼道に織り出し棒を1本通し、クシで手前に引きよせます。

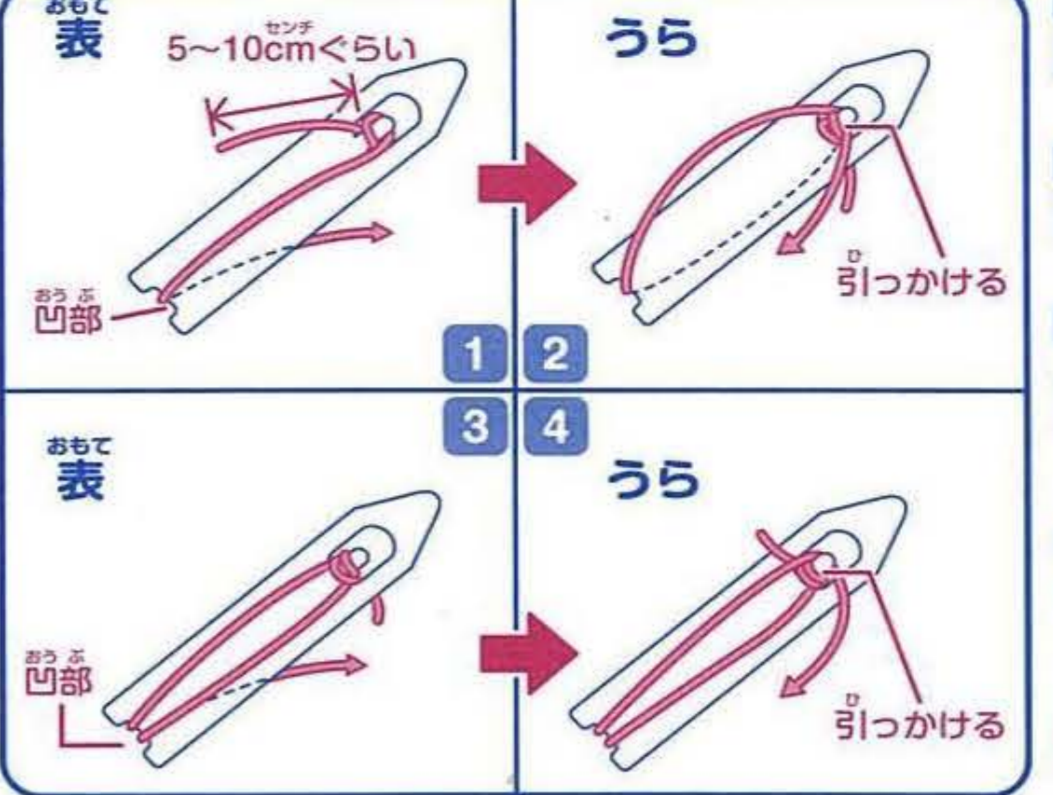
5. ヨコ糸の準備

ポンポン毛糸とむらさきの毛糸を用意します。



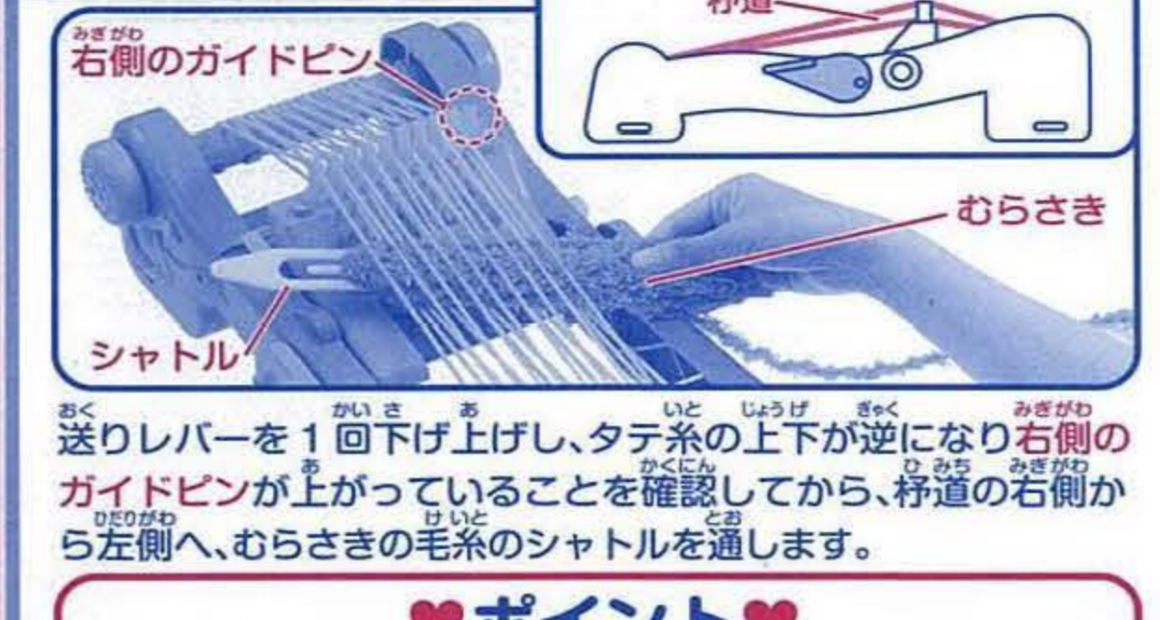
シャトルにむらさきの毛糸を巻きまます。ポンポン毛糸は全部ほどき、半分に切り分け、1本をシャトルに巻きまます。

巻き方



1 シャトルの穴の中の棒に、切ったヨコ糸の端をひと巻きまします。
2 シャトルの下側の凹部に引っかけ、うらに回して中の棒にかけまします。
3 表、4 うらと交互に糸を繰り返しかけていき、巻きとったら糸の端を50cmくらい残して切ります。
むらさきの毛糸は、3表、4うらを15回くらい繰り返して切ります。
※市販の毛糸を使うときは、シャトルが杼道に通る太さまで毛糸を巻いてください。

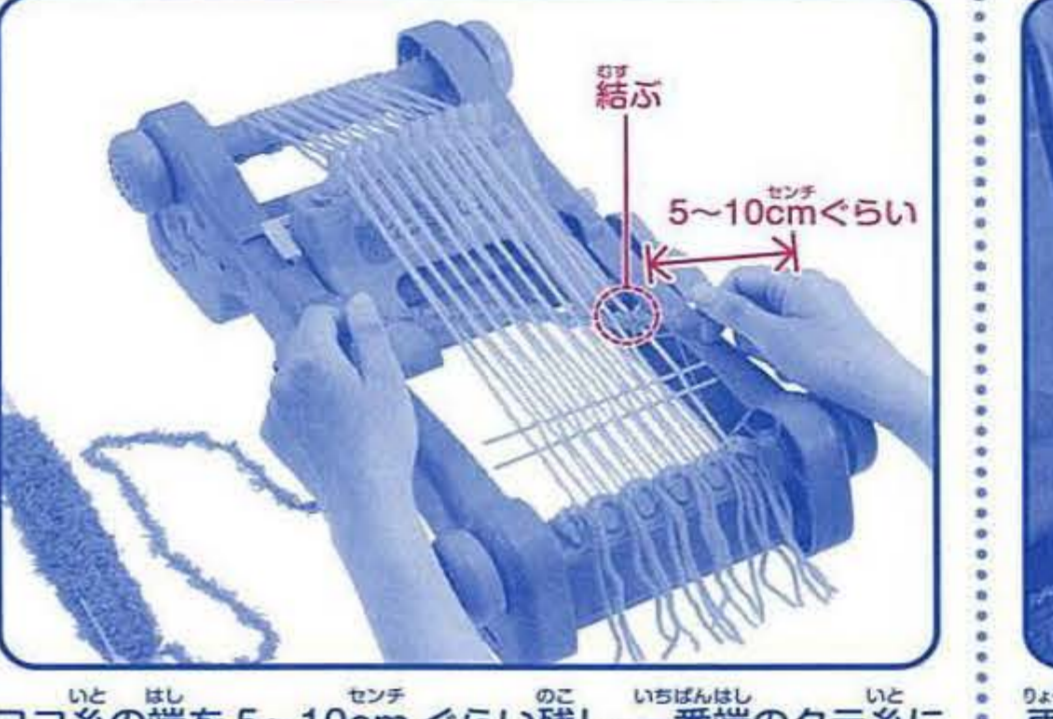
6. 平織りを織る



送りレバーを1回下げ上げし、タテ糸の上下が逆になり右側のガイドピンが上がっていることを確認してから、杼道の右側から左側へ、むらさきの毛糸のシャトルを通します。



送りレバーをもう1回押し下げ、左側のガイドピンが上がっていることを確認してから、むらさきの毛糸のシャトルを左から右に通します。



ヨコ糸の端を5~10cmくらい残し、一番端のタテ糸に結んでおきます。同じように、ポンポン毛糸のシャトルもむらさきの毛糸と同じところを通します。



両端のタテ糸をクシの歯の両端に通します。クシで斜めに通したヨコ糸を手前に引きよせます。

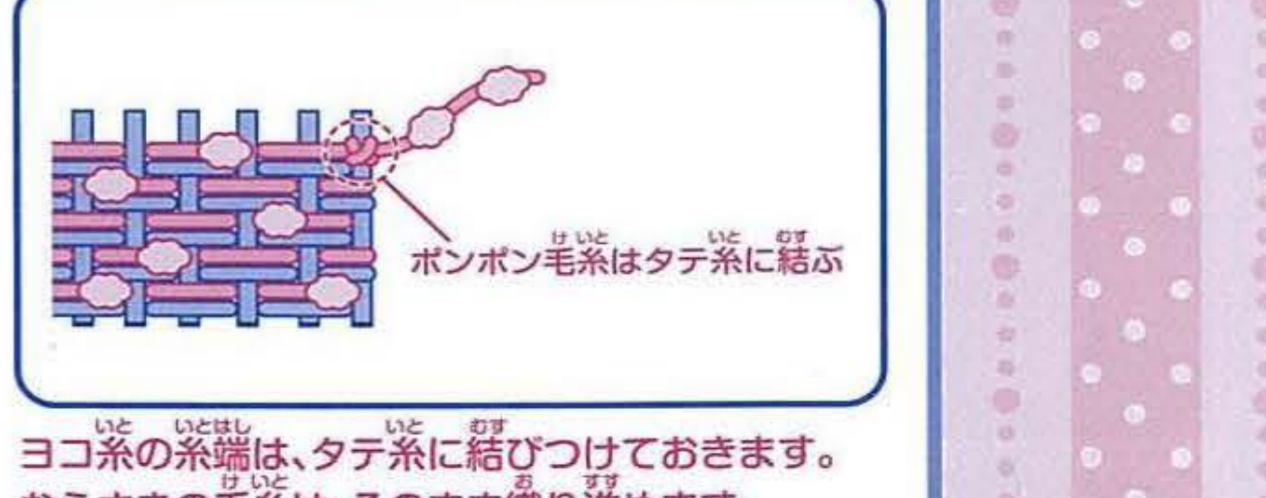


1番から5番を繰り返して、10段くらい織ります。



◆キレイに織るコツ◆
1. タテ糸の張りを平均にする。
2. ヨコ糸に過度のゆるみを与える(斜めに通す)。
3. 布の両端(布耳)を揃える。

7. 残ったヨコ糸の端の処理



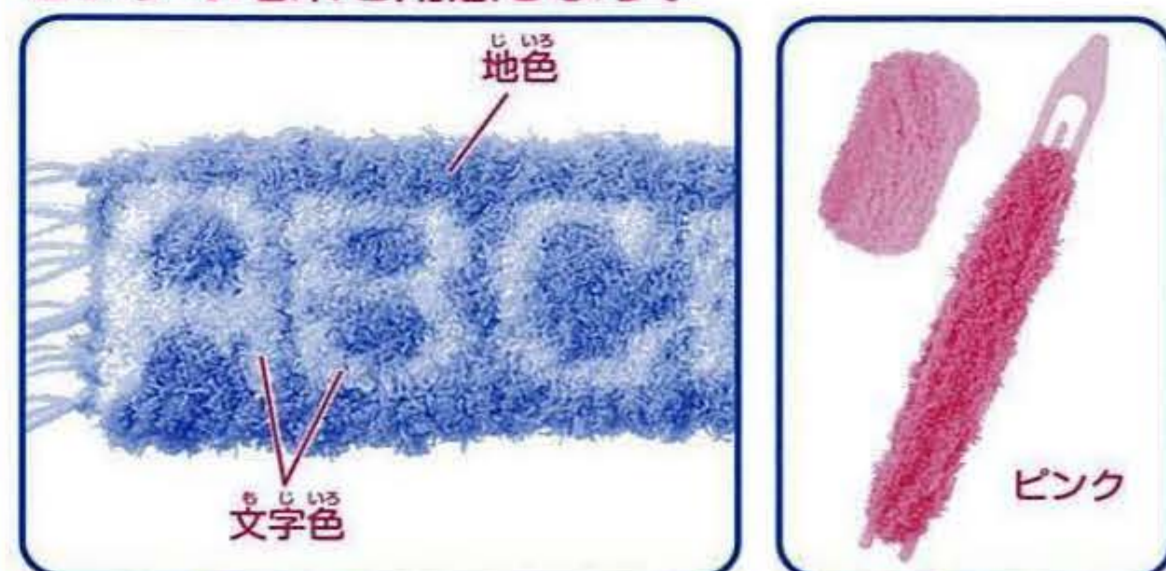
ヨコ糸の糸端は、タテ糸に結びつけておきます。むらさきの毛糸は、そのまま織り進めます。

マフラーの織り方のつづき

パンチカードを使って織る

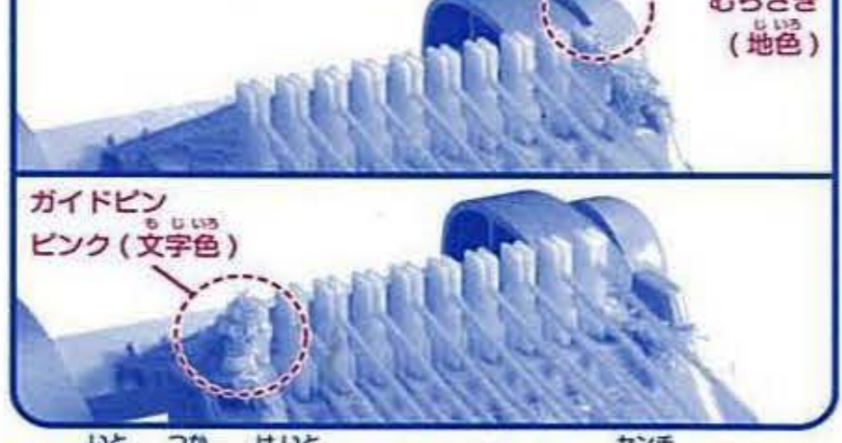
8. パンチカードを使って織る準備

ピンクの毛糸を用意します。



ポンポン毛糸をはずしたシャトルにピンクの毛糸を巻きます。
(⑤の「5. ヨコ糸の準備」を参照)

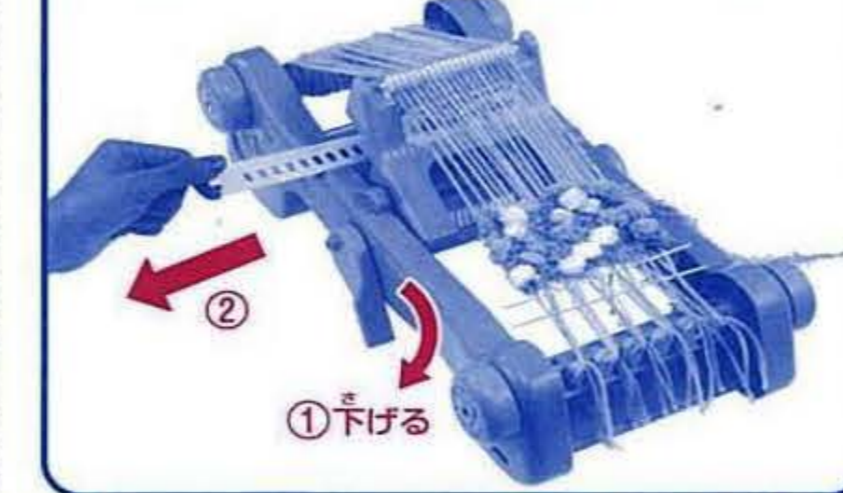
ガイドピンの使い方



ヨコ糸に使う毛糸をそれぞれ5~6cm くらい切って右側にむらさき(地色)、左側にピンク(文字色)を付けます。



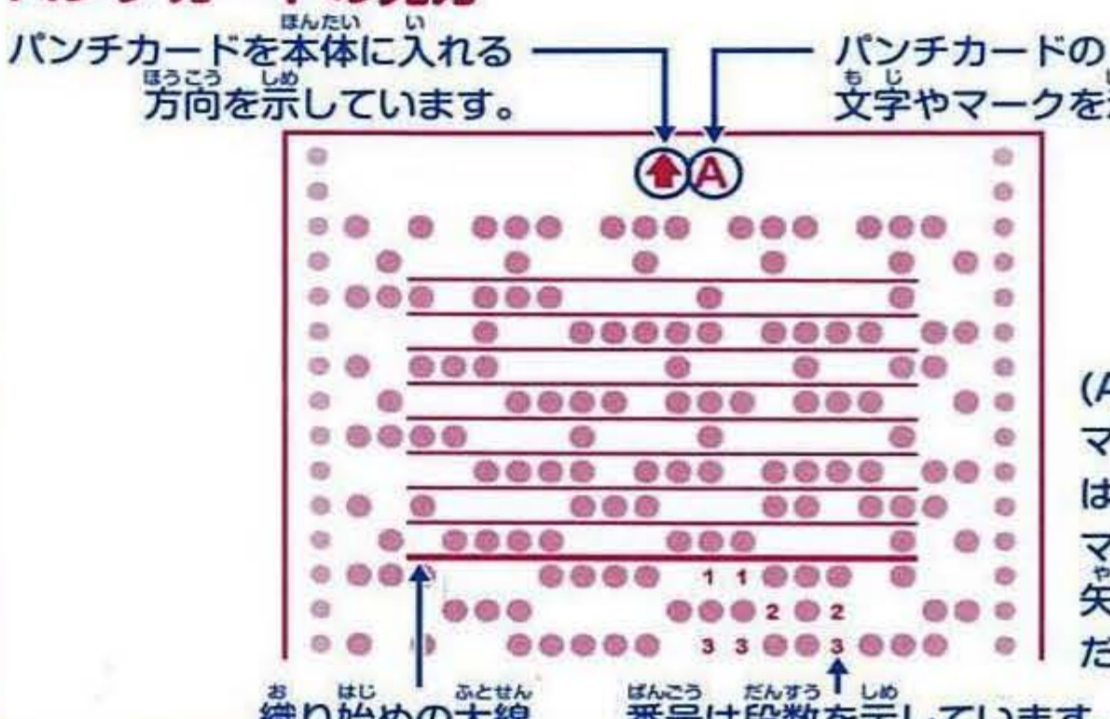
平織りプレート本体から取りはずします。



①送りレバーが止まるまで押し下げ、②平織りプレートをはずします。

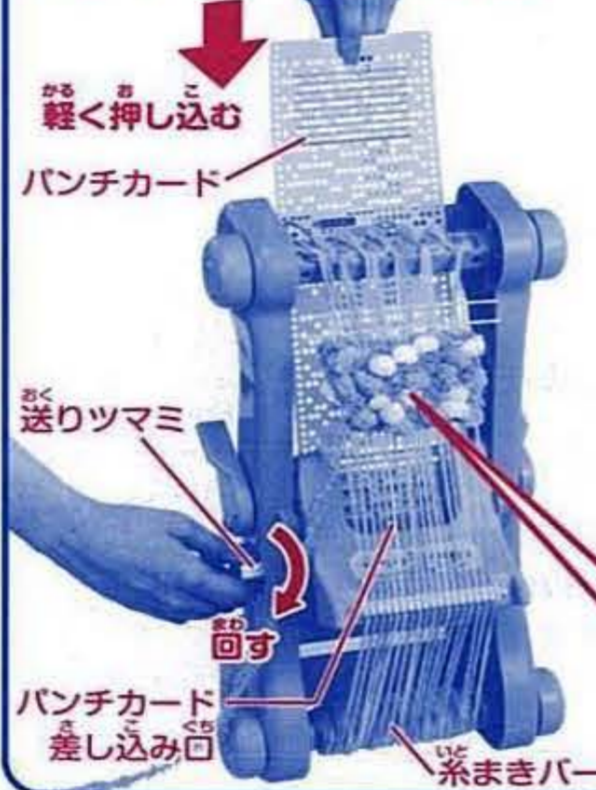
9. パンチカードの入れ方

織りたい文字やマークのパンチカードを選びます。



(A~Z、星マーク、ハートマーク、ドット、チェックは1枚に2種類文字やマークが入っています。矢印の方向に注意してください。)

パンチカードの入れ方

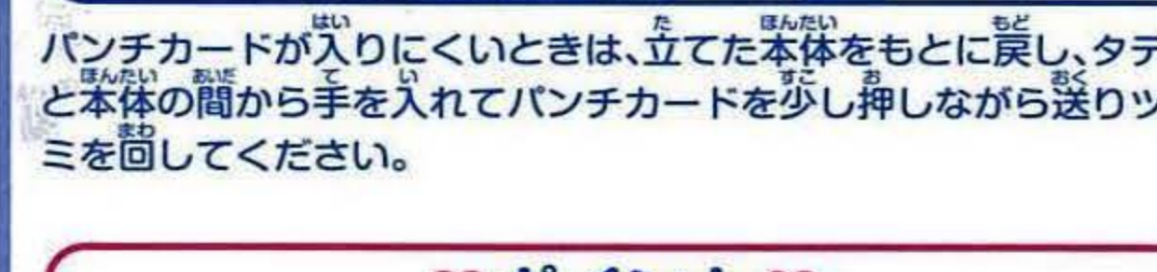
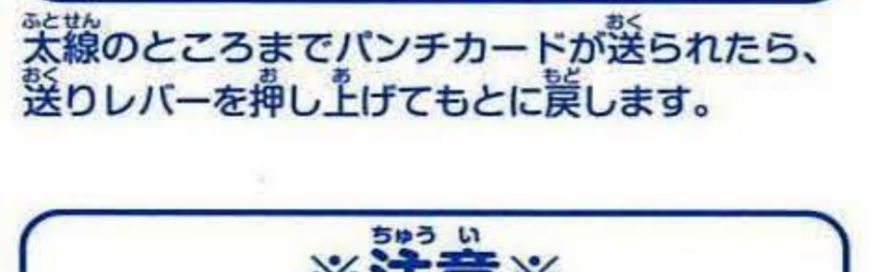


※注意※

そうこうが上がっていることを確認してから、パンチカードを入れてください。

写真のように、糸まきバーを下にして本体を立てます。

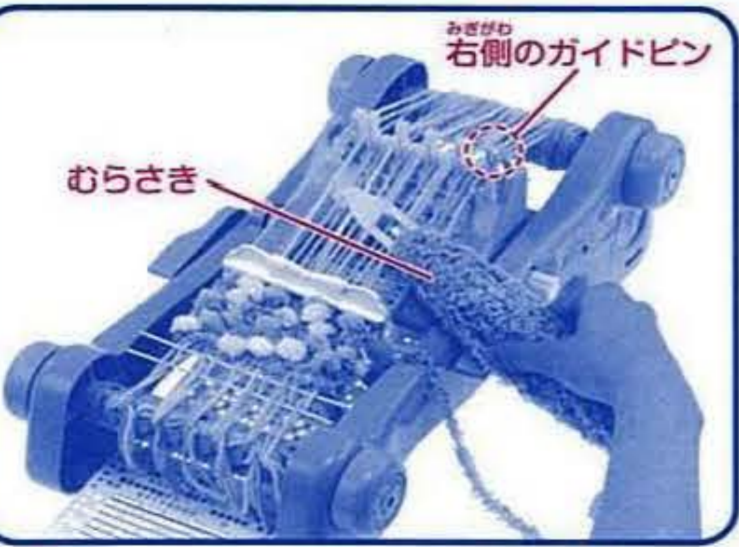
パンチカードは、プリントされている面を表にして、パンチカード差し込み口から織りたい文字の矢印を下にしてパンチカードを入れます。



10. パンチカードで織る



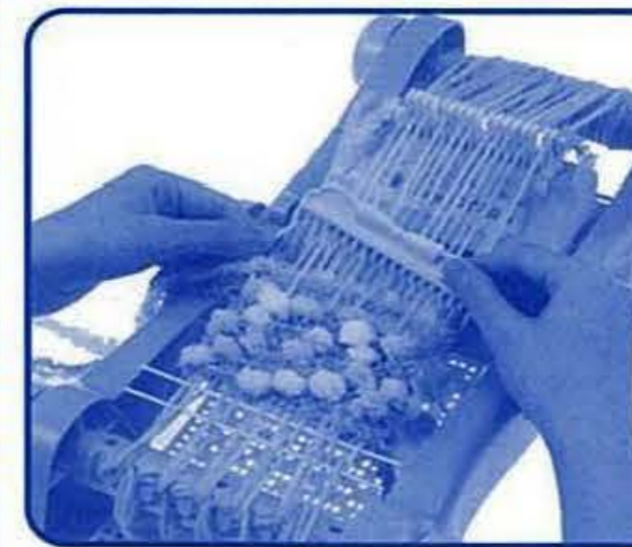
①両端のタテ糸をクシの歯の両端に通します。



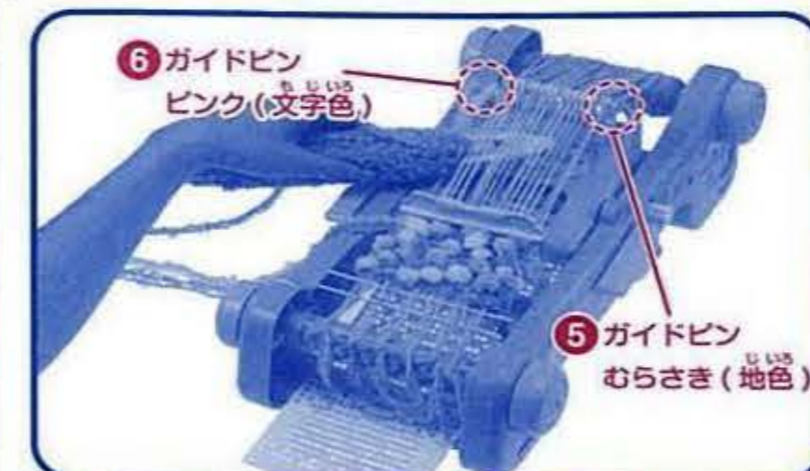
②右側のガイドピン(むらさき)が上がっていることを確認してから、むらさきの毛糸で杼道の右側から左側へシャトルを通し、パンチカードの1段目を織ります。



③送りレバーを押し下げ戻し、左側のガイドピン(ピンク)が上がって、パンチカードの右側の数字が2に変わります。ピンクの毛糸で、杼道の右側から左側へシャトルを通し2段目を織ります。ピンクの毛糸の端を5~10cm くらい残し、一番右端のタテ糸に結びます。



④クシを抜き、先ほどと同じように、両端のタテ糸をクシの歯の両端に通し、2本の毛糸を手前に引きよせます。

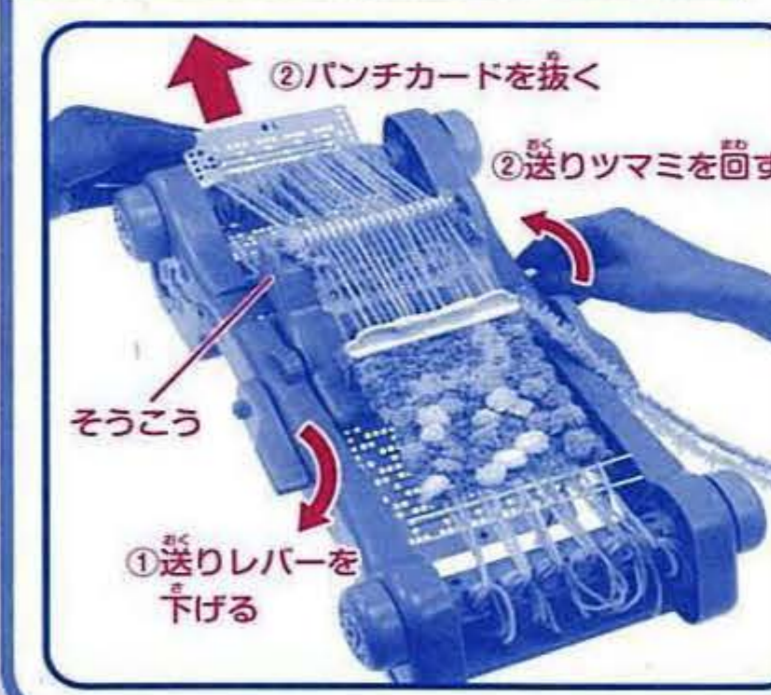


⑤送りレバーを押し下げ戻し、右側のガイドピン(むらさき)が上がっていることを確認してから、今度は左側から右側へ3段目を織ります。



⑥送りレバーを押し下げ戻し、ピンクの毛糸も同様左側から右側へ4段目を織ります。

11. パンチカードの抜き方



※アルファベット、星、ハートマークは28段、ドットは32段、チェックは16段、リボンマークは、50段で終わります。パンチカードが止まるまで押し下げて、そうこうを上に戻します。

①送りレバーが止まるまで押し下げて、そうこうを上に戻します。

②送りツマミを回して、パンチカードを抜きます。

このとき、パンチカードは強く引っ張らないでください。

次に織りたいパンチカードを入れます。(⑦の「9. パンチカードの入れ方」から「10. パンチカードで織る」参照)

12. 布地の巻き取り



織り進めると、杼道が狭くなります。シャトルが通しづらくなったら布を巻き取りましょう。

①糸まきバーの左右のハンドルを同時に両手で引っ張り(ロックがはずれる)

②そのまま手前に回すと糸まきバーとそうこうの間のタテ糸がゆるみます。



※注意※
巻き取るときは、ハンドルをそのまま回します。

次に糸まきバーのハンドルを手前に回して、ゆるめた分のタテ糸を巻き取ります。糸の張り具合は、最初と同じくらいにしてください。(⑦の「9. パンチカードの入れ方」から⑧の「12. 布地の巻き取り」を繰り返し、文字やマークを織ります。)

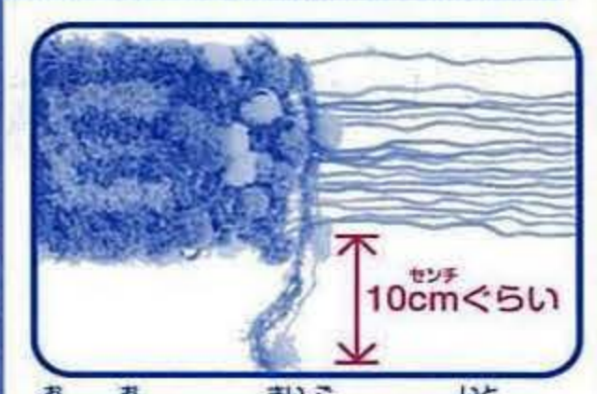
13. もう一度平織りを織る

残りのポンポン毛糸を用意します。織りたい文字やマークが織り終わったら、シャトルに残ったピンクの毛糸を全部はずします。



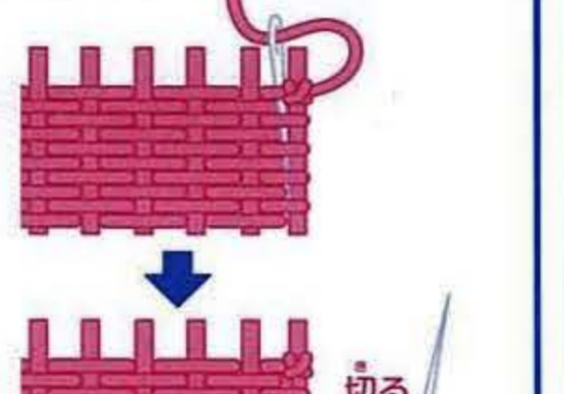
ピンクの毛糸をはずしたシャトルに残りのもう1本のポンポン毛糸を巻きます。平織りプレートを入れてむらさきの毛糸とポンポン毛糸を10段くらい平織りします。(⑥の「6. 平織りを織る」参照)

14. 織り終わったら



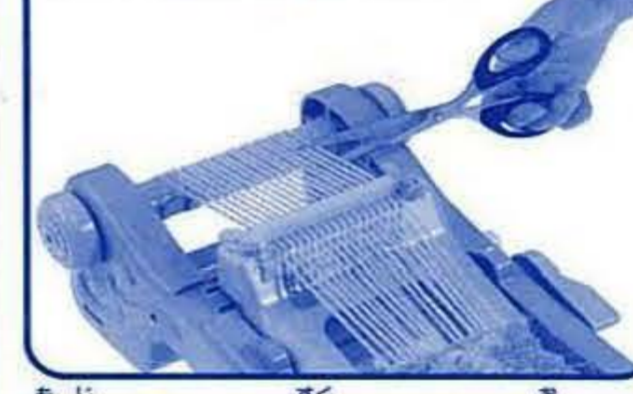
織り終わった最後のヨコ糸は、布端から10cm くらいところで切ってタテ糸に結びます。糸まきバーと布まきバーにかけてあるタテ糸をはずします。

ヨコ糸の止め方



ヨコ糸の糸端は、最後に付属の針で目立たないところに縫い込み、余った糸は切り落とします。

タテ糸が残ったら



文字やマークの少ないものを織って、タテ糸が残ったら、ハサミで15~20cm くらい残して切ります。

15. 房をつくる



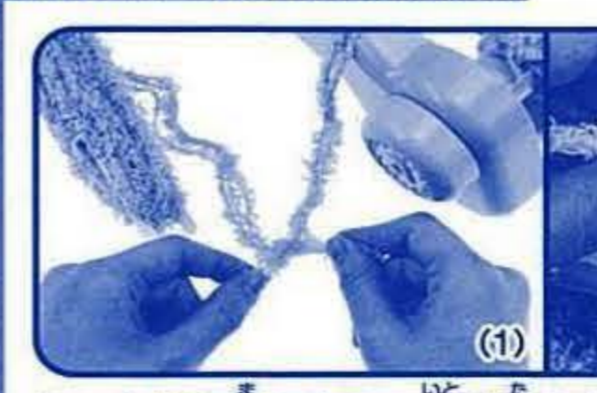
はさしたタテ糸を3本ずつ束ねて結び房を作ります。房の作り方は、デザインに合わせて選んでください。全部結び、織り出し棒をはずしたら



アレンジ例
三つ編み

マフラーのできあがり

ヨコ糸のつなぎ方



①シャトルに巻いたヨコ糸が足りなくなったら、シャトルに新しいヨコ糸を巻き、その糸端を結びつなぎます。

②ヨコ糸の色を替えたい場合は、ヨコ糸を布端から10cm くらい残して切ってタテ糸に結びつけ、替えたい色の糸のシャトルを杼道に通して織り進めます。

ポンポン毛糸を使わない場合の平織りの織り方



①タテ糸、平織りプレート、織り出し棒をセットします。

②送りレバーを上げ下げし、タテ糸の上下が逆になり右側のガイドピンが上がっていることを確認してから、杼道の右側から左側へシャトルを通します。

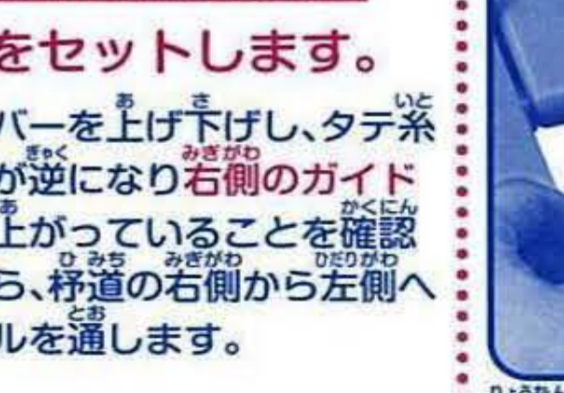
クシをタテ糸から抜き、両端のタテ糸をクシの歯の両端に入れます。



③入れたクシを手前に引きよせ、ヨコ糸を整えます。

④①から⑤を繰り返して、必要な長さを織ります。

⑤



⑤

⑤